

車いすを代えたら、おむつが外せた！ —トータルケアの大切さ—

かじみゆき
循環とくらし編集部 鍛冶 美行

とうとう使い捨ておむつの世話になるときに来てしまった。何をどう選んだらいいのかわからないけれど、恥ずかしさが先ず立って、あるものに自分を合わせている。でも、上手く使えない、そんなこともままあると思います。しかし、本来は、自分に合ったケアをちゃんとみていけば、適切に排泄・福祉用具を利用することで、クオリティ・オブ・

ライフ (QOL) が向上し、問題が解決できる場合があります。場合によっては、紙おむつを使わずに自分で排泄することも可能になります。

むつき庵では、排泄やそのケア用具について、個々人の相談に乗り、一人ひとりに見合ったやり方を探して情報を提供されています。その人の身体の状態に合った衣服や排泄用具、上下に

高さを調節できる便器、車いすでもトイレに入れるような戸の取り付け、多種多様なおむつの適切な利用法など、それぞれ関連しあっていることです。もちろん、医療との連携も欠かせません。あるとき、母親のおむつからの漏れの相談に来られたところ、実は車いすが合ってなくてトイレまでたどり着けず、おむつをしなければならなかったということがわかり、車いすを代えたらおむつが外せたという事例まであるそうです。

ここでは、むつき庵に展示されてい

る使い捨ておむつをはじめ、その数々の用具等を紹介します。



むつき庵ではおむつの当て方だけでなく、排泄のメカニズムや福祉用具を知り、事例を考えるおむつフィッター研修も主催されています。詳しくは以下で。

URL : <http://www.mutsukian.com>

おむつ編



容量や大きさ、用途別のさまざまなおむつが並ぶ



54cmは、本当に大きい！



尿パッドを固定する専用布パンツ。このようなパンツ使用でおむつのごみは軽減



1963年ごろのおむつカバー。おしめを替えて使っていた

用具編・家の建てつけ編



片手でらくらく切れるトイレトーパーホルダー



木製のポータブルトイレと、前かがみの姿勢を安定させ、力を入れてできるだけ自分で排便できるように



引き戸が難しい場合、引き込み戸ならあまり後ろに下がらずにトイレに入れる (ドアの半分が中に入るため)



立ち上がりを助ける昇降便座。座れば低くできる。隣はトイレキャリー。介護空間がない狭いトイレでもこれなら便器にかぶさるためそのまま排泄ができる



玄関口。左は通常の場合、右は車いすで上がる場合に開けると、スロープになる。